



冷温兼用ジェルパック

## 女性の痛み ジェルパックで緩和を

保冷剤メーカー・三重化学工業(松阪市大口町)が、冷やしても硬くならないのが特徴の冷温兼用ジェルパックを使った女性向け製品のブランド「ラルル」をつくった。社内外の女性6人が中心となってプロジェクトチームを組み、女性ならではの視点を生かしている。

新製品は、生理痛や産前産後の痛み、更年期症状など女性特有の体の悩みを技術で解決する「フェムテック」に特化した。冷凍庫で冷やしたり、電子レンジやお湯で温めたりしたジェルパックを当てることで、こうした痛みを緩和するのがねらいだ。実際、乳腺炎で熱を持った胸を冷やしたり、片頭痛で耳の後ろを温めたりすることで痛みが和らいだという。

三重化学工業 同性の視点生かし開発

## おなか・腰・胸… 冷温兼用

製品化の第1弾は、ジェルパックを5連結しておなかや腰などに使う「鈴蘭」(税込み2970円)、胸や目、耳の後ろ側などに使う豆型の「向日葵」(同2475円)、陰部用の「桔梗」(同2475円)の3種類。

プロジェクトは2021年9月、様々な職種の女性を選ばれて開始。事務職の安部陽子さん(49)は「お母さんや主婦がゆっくりと休める時間をつくれたらいいな」という思いで参加した。

営業の楊美娟さん(34)は「今まで我慢していたこと、改善できる」。

三重化学工業は、17年度に始まった市の支援事業で医療分野へ本格進出した。

(菊地洋行)



女性向け商品開発プロジェクトのメンバー  
＝いずれも三重化学工業提供